

社協名	社会福祉法人 菊陽町社会福祉協議会
-----	-------------------

住 所	熊本県菊池郡菊陽町大字久保田 2 6 2 3 番地
電 話	0 9 6 - 2 3 2 - 3 5 9 3
ファックス	0 9 6 - 2 3 2 - 7 3 8 5
メール	ホームページ http://swkikuyo.or.jp Eメール info@swkikuyo.or.jp
担当部局及び 担当者	地域福祉係 渡瀬 功史郎 (作成 白男川博)

テーマ番号	事業・取組み名
3	福祉助け合いの仕組みづくり

取組のきっかけ

平成 19 年度からの 2 年間実施した孤立死防止モデル事業から、菊陽町の地域福祉活動を見つめなおすきっかけとなり、今後の菊陽町社会福祉協議会の地域福祉推進事業に大きな影響を与えました。そのときに地域の活動の考え方を学び実践に移しているところです。

取組開始日 平成 2 0 年度から現在に至る

具体的取り組み内容及と実施体制

住民とともに協働して住民自らが「おたがいさま」の気持ちで気づきあい、気配りを行いながらご近所での支え合い活動の仕組みを作っていくことが重要であることに、菊陽町社会福祉協議会が再確認し、その後の地域福祉推進活動の仕組みを考え、現在につながっています。

平成 22 年度～ 支え合い活動の仕組みづくり図の作成

平成 23 年度～ 地域福祉見守り支援活動助成金の開始

共同募金配分金を財源とし 1 地区 3 年間 3 万円 継続活動地域に 1 万円助成金を支給。

平成 29 年度 3 月現在

3 年間実施地区 14 地区 現在途中経過地区 1 地区

終了して継続している地区 7 地区

平成 24 年度～ 校区懇談会の開催

平成 25 年度～ 緊急時あんしんカードの発行

平成 26 年度～ イオンネットスーパーと協働した買物支援事業

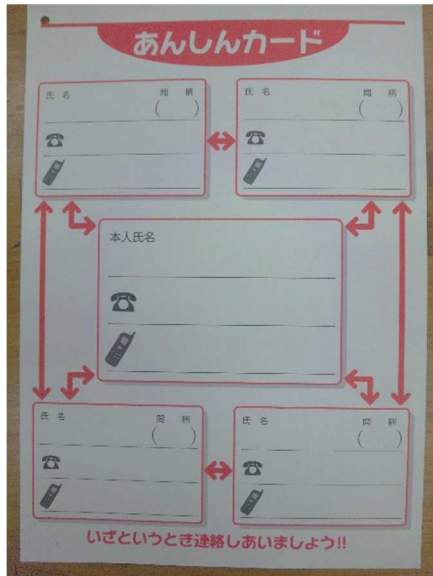
平成 30 年度～ 福祉助け合いの会設立募集開始

支え合い活動の仕組みづくり図は、大きく分けて 7 つに分けることができ、その一つ一つを繰り返すことで、より良い福祉の地域づくりができるという考え方です。

1 見出す・気づく (懇談会他)

- 2 目配り・気配り (緊急時あんしんカード他)
- 3 意識づくり (【今後】福祉助け合いの会他)
- 4 住民交流・顔見知りの機会 (ふれあいサロン他)
- 5 ご近所ボランティア (イオンネットスーパーとの買物支援事業等)
- 6 地域で出来る取組 (地域福祉見守り支援活動助成金他)
- 7 関係機関との連携 (各種関係機関との協議)

平成 30 年度以降は、地区ごとに「福祉助け合いの会」を各地区に設立し、ご近所ならではの「さりげない支え合い」を取り組んでまいります。



あんしんカードの活用

買い物支援サービスのお知らせ

お問い合わせTEL 232-4824



買い物支援事業

予算 平成 30 年度予算 町補助金、県社協助成金、自主財源、共同募金配分金

実施の効果

社会福祉協議会が積極的に地域の集まりに参加していくことにより、地域との距離が近くなり、より暮らしの困りごとの解決に取り組むことのできる、住民による地域づくりを進めることができると考えています。

このような地域づくりに、区長、民生委員を始めとする地域の方々と共に、社会福祉協議会が進めている活動を、地域の方々が、自らの地域のことについて考えるきっかけや困りごとの解決につながっています。

今後の課題

支え合い活動の取組は長い年月をかけないと大きな形にはなっていきません。住民の皆さまに継続的にご理解いただくために、また取組を進めていく職員自身が、誰もが支え合いながら安心して暮らせるまちづくりといった目的を推進していく熱量を地域の皆さまとともにつくりあげていくことが、重要なことです。